



「蟲」の新世界

バイオミメティクス市民セミナー



「蟲（むし）」という漢字を見たことはありますか？

ふだん使う「虫」とちがって、この「蟲」は、虫だけでなく、植物や動物、人間もふくめて、すべての生きものをあらわしています。だから、地球は「生きものたちのほし」ともいえるのです。ものごとの見え方は、見る人や立場によって大きくかわります。人間の目だけでなく、ほかの生きものの目で世界を見てみると、気づかなかったことがわかるかもしれません。たとえば、地球の環境のもんだいも、生きものたちの気持ちで見れば、ちがう考えが出てくるかもしれません。

『蟲の新世界ーアリとのぞく、みんなの未来ー』という絵本を出版しました。

特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会では、“科学と自然をどちらも大切にする心を育てる本”として、『蟲の新世界ーアリとのぞく、みんなの未来ー』という絵本を出版しました。

この本にはふたつの思いがこめられています。ひとつめは、ほんとうのことをもとにしながらも、おとぎばなしのように楽しく、世界のふしぎを感じてほしいということ。ふたつめは、知ることだけでなく、いつもの世界をちがう生きものの目で見てみる「新しい考え方」を大切にしてほしいということです。

今回のバイオミメティクス市民セミナーでは、『蟲の新世界』の紹介とともに、千歳湖での昆虫採集を中心に北海道の身近な昆虫について知る機会を介すことで、科学は自然をどのように捉えるべきかを考えてみます。

2025 年 8 月 6 日（水）

13:30 ～ 15:10

北海道大学総合博物館

1 階 知の交流ホール

13:30~14:10 「蟲の新世界ーアリとのぞく、みんなの未来ー」

穂積 篤（バイオミメティクス推進協議会）

14:10~14:40 「北海道の身近な昆虫について」

大原昌宏（北海道大学総合博物館）

14:40~15:10 会場との対話と課題抽出

ー「蟲瞰学」：科学は自然をどのように捉えるべきか

進行：針山孝彦（浜松医科大学）

『蟲の新世界ーアリとのぞく、みんなの未来ー』 紹介



THE HOKKAIDO UNIVERSITY MUSEUM



北海道大学総合博物館

主催：北海道大学総合博物館バイオミメティクス市民セミナー

共催：高分子学会北海道支部・北海道大学電子科学研究所・高分子学会バイオミメティクス研究会・ホトニクスワールドコンソーシアム・NPO 法人バイオミメティクス推進協議会

連絡先：北海道大学総合博物館：060-0810 札幌市北区北 10 条西 8 丁目；TEL 011-706-2658